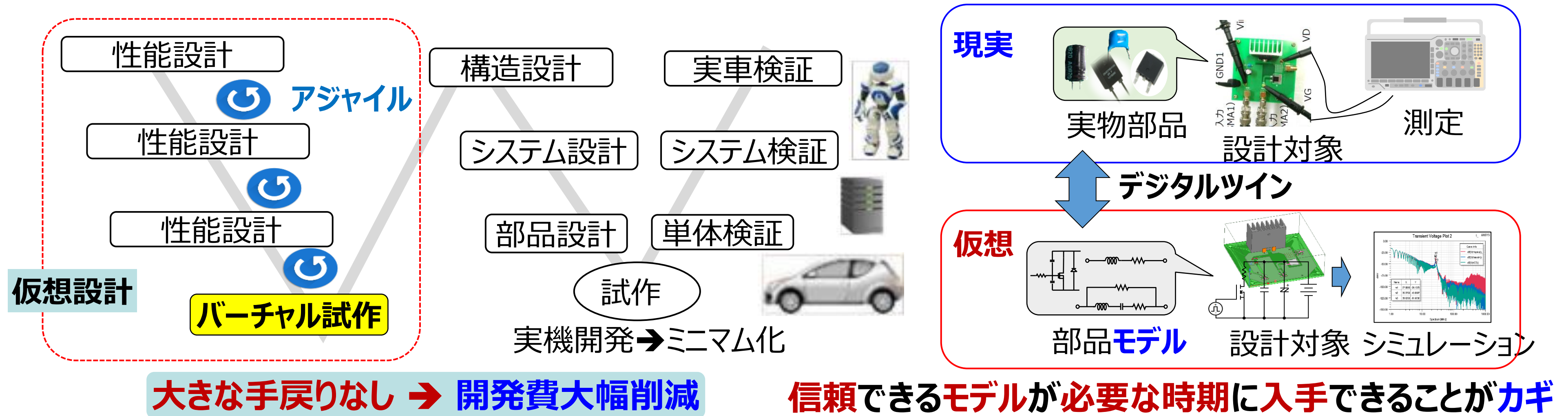


JEITA デバイスモデルDX推進サブコミッティ

仮想設計を活用した電子機器開発の効率化が必須



現状のモデル入手/提供の課題と想定される影響

- ①モデルの**素性**が不明 → 仮想設計に信頼がおけずセットメーカーの**競争力低下**
- ②デバイスベンダからのモデル**提供**が不十分 → 製品選定候補から外れ製品**採用機会低下**
- ③必要なモデルが十分**入手**できない → 仮想設計ができずセットメーカーの**競争力低下**

デバイスモデルDX推進SCからの提言 → モデルアプリケーションノートを活用した3つの施策でモデル流通を飛躍的に向上

①モデルの**品質**を担保する

モデルのアプリケーションノート記載項目を標準化し、素性を可視化
モデル認証の仕組みを構築し、モデル品質を保証(認証機関)

②モデルの**供給量**を増やす

モデルベンダの参入を促し、モデル供給能力を大幅に増強
モデル開発支援ツールの開発を支援し、モデル開発コストを大幅に低減

③モデルの**流通網**を整備する

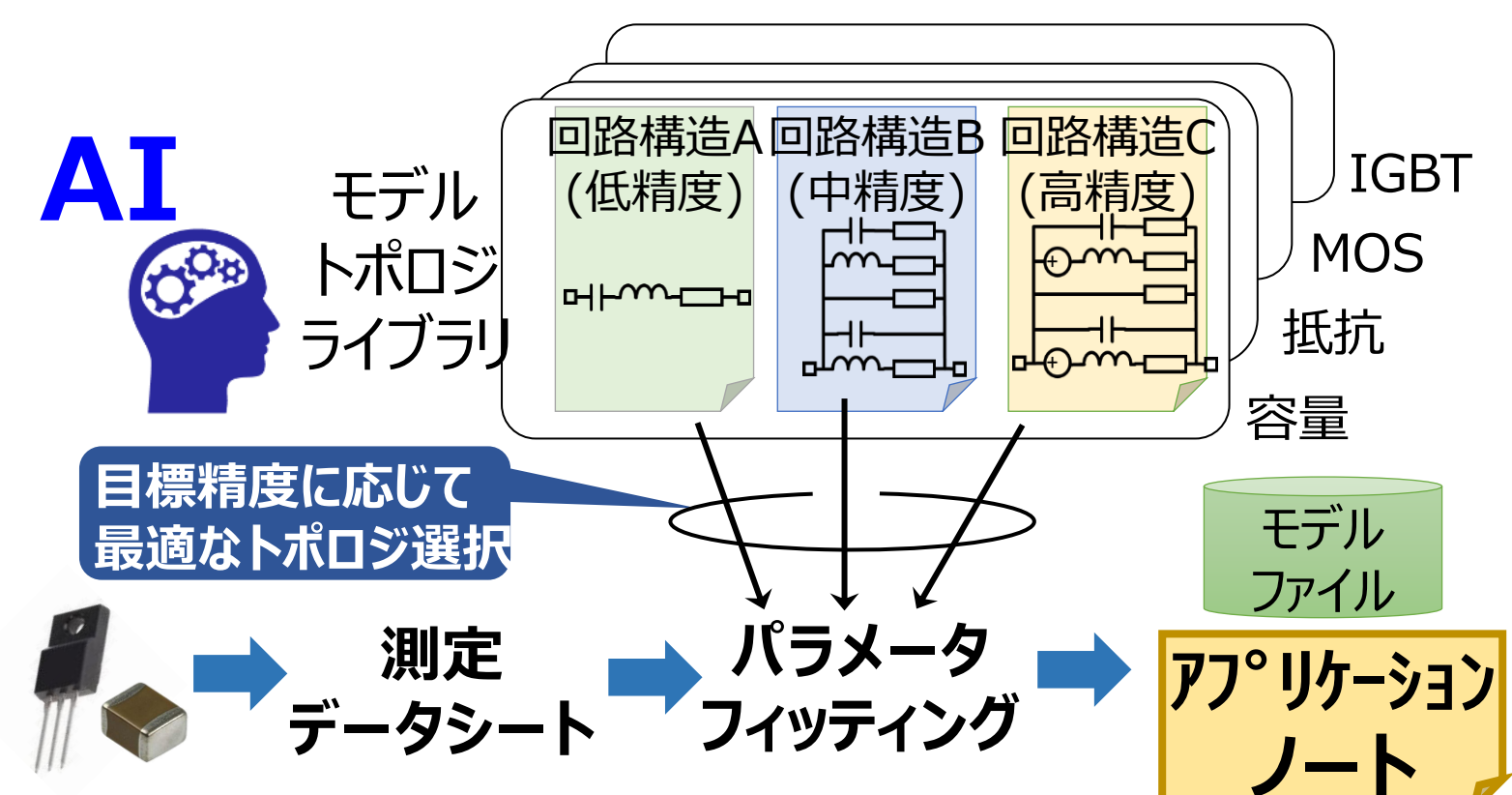
モデル流通事業者の参入を促し、モデル流通を活性化
モデル検索販売等の**モデル流通システムの開発を支援**し、流通効率を向上

〈モデルアプリケーションノート記載項目の標準化〉

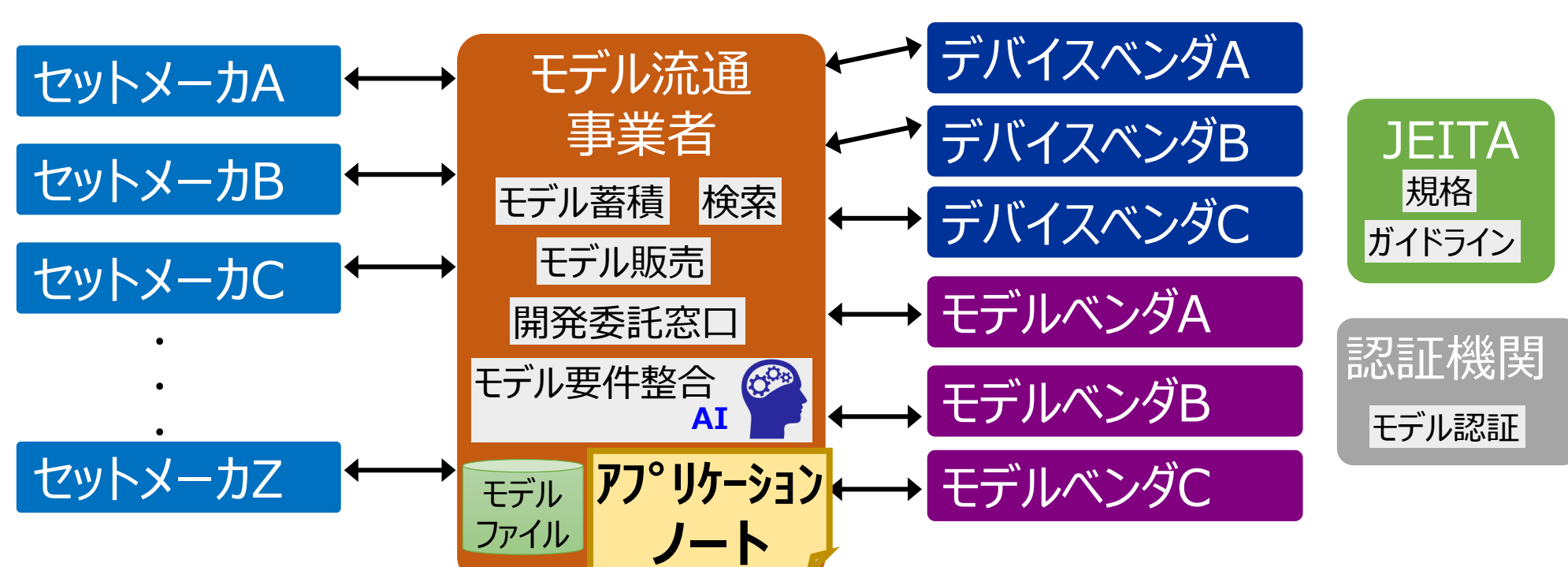
No	モデルアプリケーションノート記載項目例
1	モデルの用途
2	パッケージ寄生成分
3	コンパクトモデルの種類、実測相関
4	モデル形式、周波数範囲
5	使用回路シミュレータ
6	ツールのサポートバージョン
7	モデル化対象の容量特性、実測相関
8	検証用テストベンチ及びゲートドライバの情報
9	モデル形式、実測相関(対実測及び/又は対データシート値)
10	実測相関にFFTのData PointsとWindow Functionを記載
11	等価回路の情報
12	検証用テストベンチ及び観測点の情報
13	検証用テストベンチ及び入力信号波形



〈AI活用モデル開発支援ツール〉



〈モデル流通システム〉



※サブコミッティの年会費は事務局にご相談ください。
※サブコミッティ内のどのWGに、何人参加しても、同一料金です。

〈デバイスモデル流通のイメージ(現在⇒将来)〉



お問合せ先：一般社団法人電子情報技術産業協会 事業戦略本部事業推進部担当：岩淵・遠山
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 E-mail：device3@jeita.or.jp

